

関西ペイント株式会社平塚事業所 事務厚生棟整備事業 認証評価書の内容

平成 26 年 12 月 17 日付けで交付した認証評価書の内容は、以下のとおりです。

1 事業の概要

事業の名称	関西ペイント株式会社平塚事業所 事務厚生棟整備事業
事業の実施者	関西ペイント株式会社 平塚事業所
事業の実施区域	平塚市東八幡五丁目 4 - 1
事業の規模	3,513.95 m ²

2 環境共生の取組の評価結果

代表指標	取組の評価結果
緑化率	24.6%
エネルギー削減率	29.6%
CO ₂ 削減率	21.0%

個別指標	取組項目数	目標項目数
目標 1	8	4
目標 2	9	8
目標 3	3	2
目標 4	3	3

3 環境共生の取組の継続・維持管理方針

本認証評価書に掲げる環境共生の取組については、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」の趣旨を踏まえ、適正に継続・維持管理が図られるよう努めるものとする。

また、本事業により整備する施設等を譲渡などにより第三者へ承継する場合、承継する者に対し、本認証評価書に基づく環境共生の取組を可能な限り継続していくよう通知するとともに、速やかに県に対して申し出るものとする。

4 環境共生の取組の実施内容

【目標1】自然が有する機能・魅力を生かした都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
土地	大幅な土地形状の変更を抑制する	既存の土地形状を生かし、大幅な土地形状の変更は行わない。
	地域の風の流れに配慮した土地利用及び建物配置とする	建築物の高さ、形状等を工夫するとともに、夏季の卓越風向に対する建築物の見付け面積を小さくするよう努めるなど、地域の風の流れに配慮した計画とする。
	既存の樹林地、草地、水面、農地等を保全する	既存の中庭にある樹木は、クスノキを保存するとともに、ユズリハやハナミズキなどを移植することで保全する。
みどり	気候緩和のための計画的な緑地を配置する	夏季の卓越風向を考慮し、風上である建物南側に既存のクスノキを保存するとともに、シマトネリコを植樹することにより気候緩和を図る。
	地域・地区の特性、生態系に配慮した緑地を整備する	神奈川県土に適した植栽であるコウライシバ、サルスベリを植樹する。
	道路との敷地境界に生垣や緑地緩衝帯などを整備する	建物正面側には高木を配置し、敷地外からの緑視率を意識した良好な景観形成に努める。
	シンボリックな大径木を保全する	シンボルツリーとして敷地南側にある既存のクスノキの大木を保存する。
	緑とふれあえる場を整備する	敷地南側に芝生を整備した広場を設けるほか、敷地西側にある既存の稲荷社周辺に、クロマツなどを移植するとともに、サルスベリ、ツゲを植樹するなど、建物利用者が緑とふれあえる場を確保する。

【目標2】環境への負荷を低減する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
水	雨水の地下浸透能力を強化する	雨水浸透トレンチ、雨水浸透ますを採用するとともに、建物の周辺部に配した砂利舗装により雨水の地下浸透能力を高める。
	上水道の節水設備を導入する	節水コマ、節水型機器等の導入により水の省資源化を図る。
エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制にかかる措置を講じる	建物2階南面にルーバーを設けるほか、建物1階の周囲をピロティとするなど、建物外皮の熱負荷抑制に努める。
	通風、熱、昼光などの自然エネルギーをパッシブ利用する	3階食堂の北側にハイサイドライトを設け、昼光利用に努めるほか、南側の窓との高低差により自然換気の促進を図る。
	省エネ型の照明、空調換気、給湯設備及び動力設備を導入する	LED照明を採用するとともに、人感・昼光センサーによる照明制御を行い、消費電力の抑制に努める。
	エネルギーの需要と供給をコントロールするマネジメントシステムを導入する	BEMSの導入によりエネルギーの管理と制御を行う。
資源循環	設備の維持管理対策・更新性等の措置を講じる	OAフロアを採用し、将来の可変性に配慮する。
	建築物、外構等にリサイクル材を使用する	3階食堂のビニル床タイルと屋根下地の木毛セメント板にリサイクル材を使用する。
	建築物を木造化・木質化する	1階玄関ホールの壁は杉集成材パターン張りとし、木質化する。

【目標 3】 環境とのバランスのとれた交通計画による都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
交通	施設の整備規模に応じた駐・停車、駐輪スペースを確保する	敷地西側に、建物利用者のための適切な量の駐輪場並びに管理用車両の駐車場を確保する。
	自転車・歩行者空間を整備する	敷地入口から建物出入口まで、安全な歩行者空間を確保する。
	公共交通への近接性を確保する	事業実施箇所は、最寄のバス停から徒歩 1 分の場所に位置している。

【目標 4】 地域アメニティを創出する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
地域アメニティ	地域景観に配慮し、電線の地中化や建築物等の高さ、形状、色等の工夫をする	建物の外装は白色と黒色のモノトーンを基調とし、外壁面をセッバックするなど地域景観に配慮した計画とする。
	高齢者、障害者等に配慮した建築物、歩行空間等を整備する	敷地入口から施設内の受付までの経路は段差のない仕様とするほか、車いす使用者用のトイレを整備するなどバリアフリーに配慮する。
	利用者が健康・快適に過ごせる環境づくりに係る取組を実施する	3階食堂の北側にハイサイドライトを設け、昼光利用に努めるとともに、南側の窓との高低差により自然換気の促進を図るほか、憩いの場となるコミュニケーションルームを設けるなど、利用者が健康・快適に過ごせる空間を提供する。